

令和7年度 学校マネジメントシート

学校名 (三重県立木本高等学校 (全日制))

1 目指す姿

(1) 目指す学校の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の良さを伸ばしながら、目標や夢の実現に向けて努力を続ける生徒育成する学校 ・地域に誇りを持ち社会に役立つ人を育み、地域に信頼される学校
(2) 育みたい資質・能力 (育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢や目標をしっかりと持ち、その実現に向けて努力を続ける生徒。 ・学習や部活動に積極的に取り組み、自分の良さを伸ばそうとしている生徒。 ・地域に誇りや愛着を持ち、地元や県内、国内外で活躍する力を持つ生徒。
ありたい教職員の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校像実現に向け、連携の意識と向上心を持ち、自分の良さを活かして仕事をする教職員。 ・授業を大切にし、生徒の学力向上と進路希望実現に努め、生徒の良さを引きだそうとする教職員。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>【生徒】 進路実現に向けて学力向上や進路指導に力を入れてほしい。</p> <p>【保護者】 毎日楽しく学んで成長し、進路希望を実現させてほしい。</p> <p>【進学先】 目的意識が明確で、意欲的に学ぶ学生がほしい。</p> <p>【就職先】 素直で元気が良く、向上心と粘り強さを持った人材がほしい。</p> <p>【地域社会】 高校の力を活かして、地域を活性化したい。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>【保護者】 子どもを理解し、それを踏まえた教育をしてほしい。安全安心な学校づくりを進めてほしい。</p> <p>【中学校】 卒業生や高校の様子、入試に関する情報を知らせてほしい。</p> <p>【地域社会】 地域行事や住民活動、防災の取組等で、高校生に活躍、協力してほしい。</p> <p>【進学先】 基礎学力と目的意識を持たせて進学させてほしい。</p> <p>【就職先】 社会人として必要なコミュニケーション能力を育成してほしい。</p>	<p>【保護者】 本校の教育活動に理解と協力をお願いし、特に家庭でのしつけと学習環境確保に努めてほしい。</p> <p>【中学校】 基礎学力と目的意識を持たせて進学させてほしい。</p> <p>【地域社会】 生徒の成長を温かく見守り、本校の教育活動に協力、支援をしてほしい。</p> <p>【進学・就職先】 体験活動の実施や情報収集等キャリア教育を中心に、本校の教育活動に協力、支援をしてほしい。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価など	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が発生した時に、学校を避難所とできるような準備をしてほしい。地域には高齢者も多いので、避難する時には高校生が頼りになる。 ・キャリア教育は大事なので、さらに力を入れてほしい。 ・AIは使い方によっては効果的なので、今後は使用を検討してほしい。 ・部活動については存続の問題があるので、総括してほしい。 	

(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者に対しては引き続ききめ細やかな対応および指導が必要である。 ・一人ひとりを大切にしたい安心安全の学校づくりについて、教員間での情報や指導内容を共有できたが、さらにきめ細かい継続した指導が必要である。 ・生徒の学力の幅が広く、多様な生徒が在籍している。それぞれの学科やコースに応じた学習活動やキャリア教育などの充実が必要である。 ・現在は教科に委ねている観点別評価を管理職や教務部の教員がいつでも外部に説明できるようにする必要がある。 ・進路結果については個人情報を扱うという意識・観点をもち続ける必要がある。 ・図書館だよりや展示などの情報を発信しているが、必要な人へ届いていない。利用者が情報を手に取りやすい環境にすることが必要である。 ・体育祭やクラスマッチでは、クラスにより男女比や人数の偏りがあり、生徒の希望通りの種目を実施できていない。 ・避難経路に関して安全性が危惧される点がある。今後、より良い避難経路を検討したい。また、垂直避難訓練の実施も検討する必要がある。 ・昨年度はいじめの認知件数が10件に達した。被害生徒本人が精神的に嫌だと感じていることなどを中心に、今後も生徒が安心して通える環境を提供するため、アンケート実施をはじめとする未然防止や早期発見の取組を強化したい。 ・保健講話や教育相談研修などを継続して行い、生徒だけでなく教員の意識も向上させたい。 ・教科ごとに人権に関する内容を学習する機会を確認し、人権学習が特別に行うものではなく、日々学習するものとしていき、学習する機会を増やしていきたい。 ・南海トラフ巨大地震は、この地域全体の課題であり、探究学習などを中心に、地域と連携した活動を検討する必要がある。 ・授業を中心として、AIなどの時代の変化に対応し、生徒一人ひとりの力を高めるような体制を構築する必要がある。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は教員個人の力に頼るところが大きい。各教科の教員全員で教科のことをチェックしていけるような体制を構築する必要がある。 ・カウンセリング時間が足りない。利用希望者が非常に多くなっている。全日制と定時制とで分け合っていることもあり、カウンセラーにも負担がかかっている。 ・図書館や資料の活用を活発にするため、定期的に教職員に活用方法を発信する必要がある。 ・人権に関して対話する機会を増やし、人権問題を身近なことと捉えさせたい。 ・昨年度は時間外労働時間、定時退校日に定時退校できた割合ともに前年度より悪化した。教職員が1人配置されなかったことにより、それぞれの負担は増加した。教職員の負担と各取組の効果のバランスを考えながら、さらなる業務の見直し・削減を行う必要がある。 ・今後も経験の浅い教員が増えると予想されるため、個々の努力に任せるだけではなく、組織として教職員の資質の向上に取り組む必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科及び総合的な探究の時間等の授業を中心に、生徒一人ひとりの意欲を高め、学力を伸ばす。 ・年間を通して多様な特別活動に取り組み、生徒一人ひとりと向き合い、規範意識を高める。 ・各教科、総合的な探究の時間及び特別活動等、教育活動全体を通じて、生徒一人ひとりに応じた進路保障に努める。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が連携して授業改善とキャリア教育を進め、生徒の学力向上と進路希望実現に努める。 ・教職員が意欲的に充実感を持って仕事に取り組めるよう、連携・協力の態勢を強化し、業務内容の見直しと効率化をすすめ、総務業務時間を縮減する。

<p>キャリア教育の充実</p>	<p>●2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの進路実現に向けて、学問調べ、学校調べ、仕事調べを行い、オープンキャンパス等を推奨して社会的自立を目指す指導を行う。 【活動指標】 ・個人面談等を年3回以上実施する <p>●3学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりが進路目標を設定し、その実現に向けた指導を通して卒業後のビジョンを持たせ、卒業させる。 【活動指標】 ・年3回以上の面談を通じ、生徒ひとりひとりの状況を把握する。総合的な探求の時間に進路探究活動を行う。 <p>●進路指導部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒のキャリア形成のために1学年から支援を行う。 【活動指標】 ・生徒へのキャリア情報の提供と重層的な面談を実施する。 ・担任団へのキャリア情報の提供及び支援を行う。 ・進路ガイダンスを年2回実施する <p>●図書部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力向上及び進路実現に向けた資料を収集し、利用促進を図る。 【活動指標】 ・学習参考書や問題集を提供する。受験に向けて必要な資料を展示する。 ・館外の情報発信を図る。 ・年10回以上の図書館だより・展示物等による情報共有を行う。 <p>●生徒指導部（生徒会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が中心となって、学校行事を実行する。 【活動指標】 ・アンケート等を活用して、生徒の意見を収集し、学校行事等に反映する。 	<p>(年度末および適宜記載)</p>	
<p>一人ひとりを大切にしたい安全安心の学校づくり</p>	<p>●人権教育部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間づくりの輪を広げ、自分でだけでなく他人の人権も尊重する意識を育み、人権文化の確立に向けた学習を進める。 【活動指標】 ・人権学習を年3回実施する。（3学年は年2回） ・全校人権フェスティバルを年1回実施する。 ・公開拡大人権学習を年1回実施する。 ・人権アンケートを年2回実施する。 	<p>(年度末および適宜記載)</p>	

	<p>●図書部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して豊かな心を育む。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館や本に親しむ取り組みを行う。 ・図書委員会を運営し、生徒目線の活動を取り入れる。 ・年3回のイベントを開催する。 <p>●生徒指導部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめは許さないという学校風土を定着させる。また、未然防止・早期発見・早期対応を徹底する。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめについての生徒アンケートを年3回以上実施し、その結果を分析・確認、教職員全体で共有する。 <p>●総務教務部（総務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ巨大地震を見据えて、防災に対する意識を高め、実践的な防災教育を推進する。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震津波避難訓練や防災に関する講話等を年3回以上実施する。 <p>●保健部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年がそれぞれのテーマで講演や講話の機会を持ち、命の大切さや自分自身を大切にすることについて考える。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年につき年1回以上実施する。 		
改善課題			
(年度末に記載)			

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
資質向上の取組	<p>●総務教務部（教務）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科としてチームワークをもって教科指導にあたるとともに、教員一人ひとりが研鑽に努めるよう促す。そのため、他教員の授業参観を促進する。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス作成、教科書採択などを教科全員で実施する。 ・授業参観に行ったクラスを把握する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の成績向上・模擬試験の結果の向上 <p>●人権教育部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の人権意識を高めるため、校内研修を実施するとともに、校外研修の参加を促進する。 	(年度末および適宜記載)	

	<p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進計画に基づいた校内職員研修（年1回以上） ・校外研修の案内および参加の推奨を行う。 ・人権教育推進委員会を開催して、人権学習の指導案の協議などを行う。 <p>●教育相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員に対してのカウンセリングや生徒対応についての研修を行い、知識や技能の向上を目指す。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上実施する。 <p>●保健部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員に対して救急法の講習を実施する。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回以上実施する。 <p>●学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼される学校・教職員であり続けるための取組を実践する。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に体罰・セクハラ防止に関するアンケートを実施するとともに、教職員対象の校内研修を実施する。 ・不適切な事務処理等の事例を全教職員で共有する。 ・全教職員対象のコンプライアンス・ミーティングを年1回以上実施する。 		
<p>情報提供による信頼の構築</p>	<p>●図書部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員に授業内容や学習活動充実のためのサポートを行い、学校図書館の活用を促進する。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員用の利用案内を作成する。授業利用等、活用方法について定期的に情報を発信する。 <p>●総務教務部（情報）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページを活用し、情報発信を行い、保護者や地域との連携の促進を図る。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間10回以上実施する。 <p>●学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報道機関等への情報提供や取材依頼を通して、生徒の姿を中心に、本校の取組内容や成果について、積極的に情報発信を行う。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報道機関に対して、年5回以上の情報提供や取材依頼を行う。 	<p>(年度末および適宜記載)</p>	

<p>働きやすい 職場環境づくり</p>	<p>●学校全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の時間外労働時間の削減に引き続き取り組む。 <p>(1) 業務の削減・精選・効率化</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校マネジメントシートの作成を通じて、それぞれの業務の目的・課題等について検討し、業務の見直し・改善を図る。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外労働時間が月45時間および年間360時間を超える教職員が0人 ・一人当たりの平均時間外労働時間が月30時間以下 <p>(2) 定時退校日の設定</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校日を月1回設定する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校日に定時退校した教職員の割合70%以上 <p>(3) 部活動休養日の設定</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の休養日を週1回以上設定する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休養日を月4回以上実施した部活動の割合100% <p>(4) 会議時間の短縮</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議時間を60分以内にする。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・60分以内に終了する会議の割合80%以上 <p>(5) 学校閉校日の設定</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校閉校日を年3回以上設定する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休暇以外の年休取得合計日数が平均15日以上 <p>●総務教務部（情報）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の要望に対して、アドバイスおよびサポートを行う。 	<p>(年度末および適宜記載)</p>	
改善課題			
(年度末に記載)			

6 学校関係者評価

<p>明らかになった 改善課題と次への 取組方向</p>	<p>(年度末に記載)</p>
--------------------------------------	-----------------

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)